

保全業務実務担当者の知識習得と意識向上を目指して ～「平成24年度中部地区官庁施設保全連絡会議(静岡会場)」の開催～

静岡営繕事務所

◇開催概要

静岡営繕事務所では平成24年7月30日(月)に「官公庁施設の建設等に関する法律」に基づく保全指導の一環として、各施設管理官署の保全担当者及び地方公共団体保全担当者等に対し保全情報の提供、現場担当者の保全意識の向上、現場ニーズの把握等のため中部地区官庁施設保全連絡会議(静岡会場)を静岡県教育会館にて開催いたしました。(参加者:国家機関19、独法5、地方公共団体15、計39機関64名)

◇説明内容

第1部

- ・国家機関の建築物等の保全の現況について、保全業務の支援ツール等紹介
- ・東海ブロック営繕関係機関地震・津波対策検討会(仮称)について
- ・施設保全についての事例紹介
- ・節電対策の紹介

第2部

- ・平成23年度保全実態調査の結果報告(中部地方整備局管内)、平成24年度保全実地指導について
- ・建物の定期点検制度について
- ・災害被害の報告について
- ・「国家機関の建築物における吹付けアスベスト等の使用実態に関する調査結果」について
- ・「官庁施設における帰宅困難者対応マニュアル作成の留意事項」について



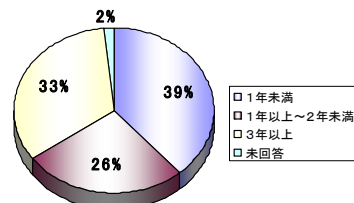
事務所長挨拶



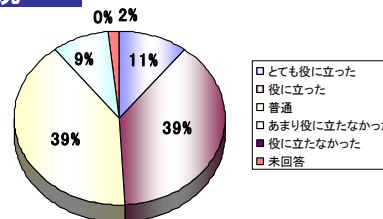
会議状況



保全相談コーナー



実務経験



全体としての評価

アンケート評価

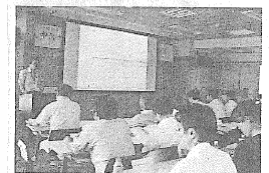
官庁施設の管理情報交換
静岡営繕30回目の中部地区連絡会議(静岡会場)を開いた「写真」。県内の独立行政法人、県、市町など約40機関の施設管理担当者が参加した。同連絡会議は今回で30回目を迎えた。

北原浩行所長は「施設の長寿命化や節電対策などには適切な管理・保全が必要。その重要性を知ってほしい」とあいさつした。

連絡会議では中部地方整備局官庁施設管理官の西脇博氏が国家機関の建物の保全状況や支援ツールについて、また竹中工務店名古屋支店の北川国彦氏が施設保全の事例などを紹介した。そのほか中部電力法人営業グループの中村浩茂課長が節電対策について解説した。

そのほか、会場には保全相談コーナーを設け来場者から質問を受け付けていた。

て情報交換する「中部地区官庁施設保全連絡会議(静岡会場)」を開いた



建通新聞

平成24年(2012)8月3日(金)7面